

平成 22 年度 第 1 回

情報配線施工技能検定

3 級ペーパー実技試験問題

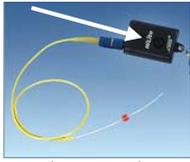
■注意事項■

1. 受験番号と氏名を下記記入欄に必ず記入して下さい。
2. 解答用紙の記入に当たっては、次の指示に従ってください。指示に従わない場合には採点されません。
 - (1) 解答用紙はOCR方式ですので、所定の口の枠からはみ出さないように、1文字ずつ記入してください。
 - (2) 受験番号欄には、必ず受験票に記載されている番号を記入してください。
 - (3) 氏名欄には、必ず受験票と同様に記入してください。
 - (4) 解答は濃度HB程度の鉛筆を使用してください。解答を訂正する場合は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないでください。
3. 受験票は、試験時間中は必ず、試験監督官が見やすい机の上の通路側の位置に提示しておいてください。
4. 試験時間終了時には、解答用紙を回収します。
5. 試験問題に関する質問にはお答えできません。
6. そのほか、いかなる場合でも試験監督官の指示に従って、受験してください。

第1問

表1の「該当番号」内に、各語群の中から最も適したものを1つ選び、その番号を該当番号の解答欄に記せ。

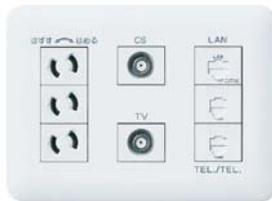
表1

名称	1	機器収納ラック	配線モール (マガリ)	2
写真	 (→の機器)	3	4	
用途	5	6	7	8

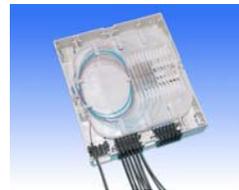
【1、2の語群】

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 成端箱 | 2. 情報用配線盤 |
| 3. 通信アウトレット | 4. モジュラプラグ |
| 5. パッチパネル | 6. 可視光源 |

【3、4の写真群】



1.



2.



3.



4.



5.



6.

【5、6、7、8の語群】

1. 同軸ケーブル用のコネクタ
2. ネットワーク機器や成端箱を収納するラック
3. 光の導通確認や線路の破断個所の確認などを目視で行うときに使用する機器
4. 通信系、放送系や電源のコンセントを1ヶ所にまとめた器具
5. 配線モールで壁などの平面の曲がり部分に用いる部材
6. ケーブルの接続部や余長を収納するための箱
7. 多対ケーブルなど多くの心線を接続する場合に用いる配線盤
8. 110 パネルの心線を整線する部材
9. 通信用のオス型コネクタ
10. 主配線盤とアウトレットの間で各階に設置される配線盤
11. 光ファイバ同士をアーク放電の熱エネルギーにより接続する機器
12. 光ケーブルを接続、成端するための箱

第2問（メタルケーブル作業関連問題）

次の各設問の【該当番号】内に、それぞれの語群、図群や写真群の中から最も適したものを1つ選び、その番号を該当番号の解答欄に記せ。

- (ア) 図1の部材は、【9】と呼ばれ、【10】内で【11】を成端し、端末等へのインタフェースとして使用される接続部材である。



図1

【語群】

- | | | |
|-------------|---------------|-----------|
| 1. アクセスフロア | 2. ワークエリア | 3. プルボックス |
| 4. 通信アウトレット | 5. 幹線ケーブル | 6. 水平ケーブル |
| 7. 情報用配線盤 | 8. パンチダウンブロック | 9. デスクトップ |

(イ) 図2は、図1を組み立てる手順である。12～16にあてはまるものはどれか。

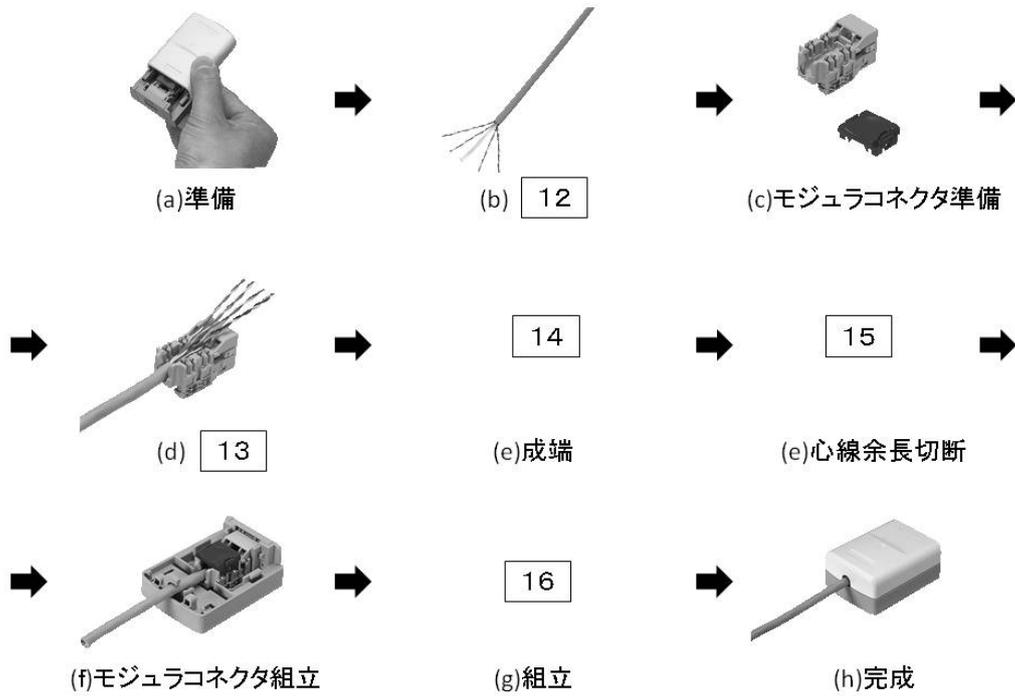
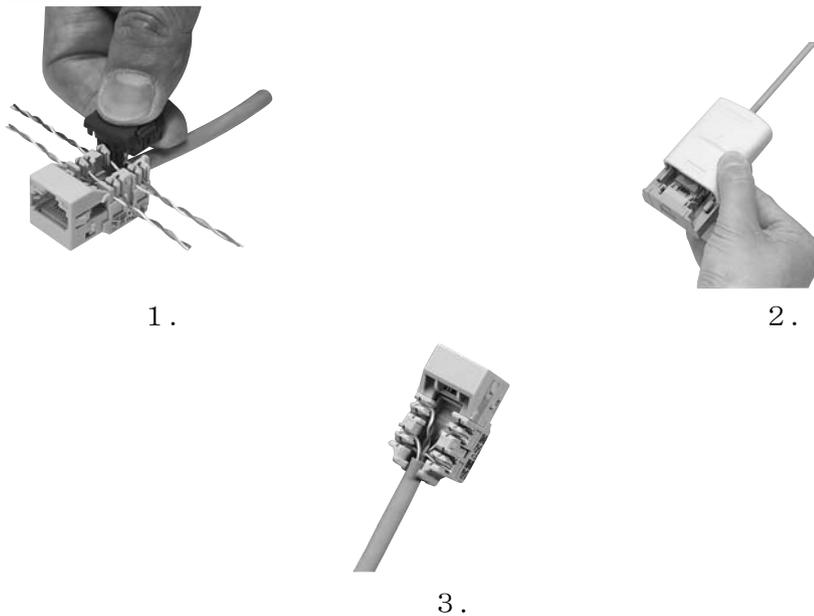


図2

【12、13の語群】

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1. 成端 | 2. 心線被覆除去 | 3. 外被除去 |
| 4. 突き合わせ | 5. ケーブル切断 | 6. ケーブル固定 |

【14、15、16の写真群】



(ウ) 次の各写真は通信アウトレットの組立後あるいは組み立て時の不良例である。その原因として最も適切な説明文を語群からそれぞれ選べ。

写真	説明文
	<p>正常（良）</p>
 <p>(蓋を開けた状態)</p>	<p>17</p>
	<p>18</p>

【語群】

1. ケーブルの外被が潰れている。
2. ケーブルの余長が短すぎる。
3. ラベル付けがされていない。
4. ケーブルが固定されていない。
5. ポート数が少ない。
6. 蓋の色が間違っている。

(エ) 次の各写真はモジュラジャックの成端の不良例である。その原因として最も適切な説明文を語群からそれぞれ選べ。

写真	説明文
	<p>正常（良）</p>
	<p>19</p>
	<p>20</p>

【語群】

1. 心線の切断長が長すぎる。
2. 心線の曲げが強すぎる（過度に折り曲げられている）。
3. 外被に傷がついている。
4. 心線のより戻しが長すぎる。
5. 心線が切断されている。
6. 圧接が不十分である。